

気候変動リスク・機会の評価等に向けたシナリオ・データ関係機関懇談会の開催について

1. 趣旨

民間金融機関・企業等が、信頼性が高く客観的なリスク・機会の評価・分析を行い、企業開示や顧客との対話をはじめとした気候変動への対応を効果的に実施するためには、広範な分野にわたり蓄積された専門的な気候変動関連データ（シナリオデータも含む、以下同）を適切に利活用していくことが不可欠である。

一方、民間金融機関・企業等のデータユーザー側においては、データへの理解や利活用のための体制整備が必ずしも十分であるとは言えず、データ提供側である官民の各機関等においても、データユーザー側のニーズを十分に把握・理解してデータの整備・充実や提供を行えているとは必ずしも言えない状況となっている。

このため、気候変動関連データの更なる有効な提供や利活用等を促し、データを用いた持続的なイノベーションを産み出す環境を創出するためには、データの提供・利活用に係る両者が会し、互いのニーズ・課題等の把握や今後の対応の方向性等について、双方向性で情報・意見交換を行うことが有効であることから、データの提供・利活用に係る多様な関係主体が参画した「気候変動リスク・機会の評価に向けたシナリオ・データ関係機関懇談会」を開催するものとする。

2. 懇談会メンバー

公的研究機関等のデータの提供主体、データを利用する民間金融機関・企業等、これらの所管省庁

3. 運営方法

- (1) 会議の事務局は、金融庁、文部科学省、国土交通省及び環境省が連携して担当する。
- (2) その他、会議の運営に関し必要な事項は、会議で決定する。